

Campus Today



ハーバード幹細胞研究所 Douglas A. Melton 教授が来学



本学で特別講演、器官再生研究の最先端を語る

本学と共同研究 学術協定を結んでいるハーバード幹細胞研究所 (HSC I) のダグラス・A・メルトン教授らの一行が一月二十一日(水)から二十二日(木)にかけて本学を訪れた。総合歯科医学研究所や大学病院を見学後、メルトン教授は「ハーバード幹細胞研究所の使命―糖尿病治療に向けた膵臓β細胞の作製」と題して大学院特別講演を行った。つねに世界中から数え切れないほどの講演依頼がある同教授だが、実際に講演を引き受けるのはごく稀なことで、今回の来学・特別講演の実現はHSC Iと本学との共同研究による深い結びつきを象徴したものといえる。

ハーバード幹細胞研究所の科学者 人。翌日午前九時から森本俊文学長を務めるハーバード大学のメルトン教授は、器官再生分野において世界の第一人者であり、米国「TIME」誌の「二〇〇八年世界で最も影響力のある一〇〇人」では大統領候補のバラク・オバマ氏に次いで二位に選ばれたほどの著名な科学者である。

本学は、二〇〇八年四月にメルトン教授率いるHSC Iと共同研究・学術協定を締結。本学からは八巻真理子、矢ヶ崎理紗の研究員二人を派遣し共同研究を行っている。

メルトン教授一行は、二十一日午後後に成田空港に到着、その日のうちに塩尻に移動し、夜は本学のキャンパス・インに宿泊した。来学したのはメルトン教授をはじめ本学との共同研究を現場指揮するケビン・エガン准教授らHSC Iを代表する五人。

午前十時三十分からは、小澤英浩大学院歯学独立研究科長、総合歯科医学研究所長、中田 稔病院長の案内で総合歯科医学研究所や大学病院を見学し、その充実した施設、とりわけ研究所の電子顕微鏡や小児歯科の診療ブースに興味を示していた。

また、主として多能性幹細胞 (pluripotent stem cells) または成人幹細胞 (adult stem cells) からベータ細胞を作る方法を紹介し、ベータ細胞はからだのなかで一気に行けるのでなく、最終内胚葉、前腸、膵臓、内分泌腺、そしてベータ細胞という過程を経ること、そして、それぞれの過程を支配する複数



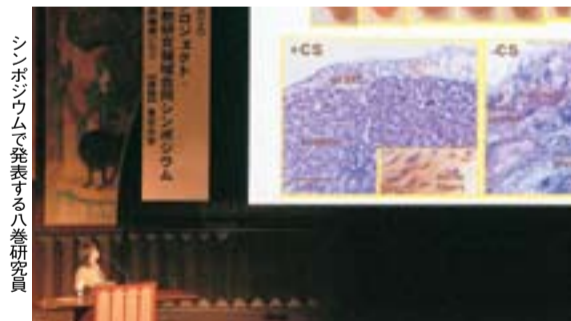
演題「糖尿病治療に向けた膵臓β細胞の作製」について説明するメルトン教授

が有望である。それには遺伝子を用いる方法が考えられるが、安全性、特異性、効率、即効性、そして経済性のすべての面から、実際の医療では低分子化合物を応用する方法が優れている」と話し、具体例として運動性ニューロンの退行疾患である萎縮性側索硬化症 (ALS) とベータ細胞の退行疾患である糖尿病について詳しく解説した。

HSC Iでは、ALS因子を持つマウス胚性幹細胞 (ES

ICORP 器官再生プロジェクト
日米合同シンポジウム
八巻真理子研究員が
共同研究成果発表

メルトン教授ら一行は本学を来訪した後、東京に向かい、一月二十四日(土)に東京大学安田講堂で開かれたICORP器官再生プロジェクトのシンポジウムに出席。メルトン教授が基調講演を行い、同行の四人も研究発表を行った。また、HSC



シンポジウムで発表する八巻研究員

Iのケビン・エガン准教授のグループで共同研究をしている本学の八巻真理子研究員が、「I型コラーゲンの人工細胞外マトリクスはマウスES細胞の腫瘍化能を抑制する」と題して研究発表を行った。

幹細胞の腫瘍化能を抑制する物質があれば、それは再生医療の実現に大きく貢献するだけでなく、再生工学の大きな進展にもなる。そこで八巻研究員は体の中で最も大量に含まれるI型コラーゲンに注目。ES細胞から誘導した神経細胞、あるいはES細胞をそのまま接着して移植すると、前者は半分以上が、後者は全部が腫瘍化するが、I型コラーゲンの三次元担体のコラーゲンスポンジにつけて移植すると、実質的にまったく腫瘍化しないことを明らかにした。

I型コラーゲンが腫瘍化を抑制する発見は世界で初めてであり、八巻研究員の発表内容は非常に注目を浴びた。

「海外学術戦略室 室長 蝦名 恵」

「下雪」も明け、春の始まる日。たしかに日脚が伸び、日差しも強まって眩しく感じる。だが、氷もはれば雪も降る余寒の季節がある。太平洋側や内陸では「上雪」が一月に最も降りやすいが、光の春の近づく実感は「下雪」の降る日本海側で強く、長いこと覆われていた雪雲が割れて、日が照り出してくる。一時的だが、これが雪国の春の近づきだ。そうこうするうちに「爆弾低気圧」が日本海で発達して、爆発的に春一番の暖かな強風が吹き荒れる。

の遺伝子があることを説明した。

さらに「糖尿病患者の膵臓にベータ細胞がある程度残っていれば、それを人為的に増殖させることによって、その患者の症状を改善させる可能性があるが、それはもちろん、すべての患者に適した手法ではない。われわれは幹細胞からベータ細胞を、低分子化合物を使って効率よく作り出す方法を開発した。この化合物を使った実際の治療までには、やるべきことは多いが、それは必ず実現できる」と語った。

また共同研究のパートナーである本学についても触れ、教育と研究の有機的結合を強調し、民主主義を尊び、真理を追究することを謳った建学の理念を高く評価した。最後に「再生医療は無数の可能性を秘めている。共同研究



大学院・高橋直之教授の質問に答えるメルトン教授

に加わった松本歯科大学とは公平、かつ、開放的に意見やアイデアの交換を行い、さらに一層の研究成果が得られることを期待する」と締めくくった。

ある日、せつかく暖かくなっても、けつしてそのままではな。かならず寒さがぶり返す。きのうときょうとで、気温が五度とか十度近く上がることも、下がることも珍しくない。

南国からはウメの開花便りが届きはじめる。次にはスイセンの花が咲く、やがてマンサク、詩にある福寿草、菜の花、サンシュユなどの鮮やかな黄色が春のサインを送ってくる。

四日は立春。長かった「寒」も明け、春の始まる日。たしかに日脚が伸び、日差しも強まって眩しく感じる。だが、氷もはれば雪も降る余寒の季節がある。太平洋側や内陸では「上雪」が一月に最も降りやすいが、光の春の近づく実感は「下雪」の降る日本海側で強く、長いこと覆われていた雪雲が割れて、日が照り出してくる。一時的だが、これが雪国の春の近づきだ。そうこうするうちに「爆弾低気圧」が日本海で発達して、爆発的に春一番の暖かな強風が吹き荒れる。

お天気歳時記

元日本気象協会調査役
お天気コンサルタント
ありが 淳し
有賀 淳し

明るい日ざしにほっとして
深呼吸した翌日に
寒の戻りか雪が舞い
春一番が吹き荒れて
また冬將軍がやって来て
日がわり天気口ずさむ
びつたりの歌「早春賦」
信濃の春はもうそこに
見えはじめている
笑つてる

南の日だまり福寿草
二輪そろって咲きました。
信濃毎日新聞に掲載された長野市の林宏子さんの詩。

視点



暮の十二月十四日、残り少ない任期を惜しむかのように突然イラクを訪問したブッシュ大統領、またまた話題をふりまく訪問とは相なつた。

靴を投げた記者はその場で取り押さえられ、身柄を拘束されたが、傀儡政権下の法廷でどのような判決が下されるか、国際的注目を浴びるところだ。この記者は地元テレビ放送記者であつたばかりに反響も大きく、議会では対米強行派(サドル氏派)の議員はこの記者のために立ち上ることが議会の責務と考え、これに反対する議員との間で論議が紛糾しているといわれる。イラク全土ではこの放送記者を英雄視する声も多く、釈放を求めるデモも全土で幾日も続けて行われた。なにしろイスラム圏で特定の人物に靴を投げることは露骨な侮辱を示す習慣とされており、戦争好きなブッシュ大統領にとつても任期終了最後の大きな土産話として格好の物語りになりはしないだろうか。

思い返せば、ブッシュ氏が大統領に就任したその年(二〇〇一年)の九月十一日、所謂米同時多発テロ(9・11事件)なるものが発生した。これらの若干については既に述べた。

この合衆国の愛国的風潮の発生源と昂揚に伴って戦争への謀略は更に進められて行く。イラクに対する米の「大量破壊兵器隠匿の疑惑」に対し、ブックス国連査察委員長の「大量破壊兵器はイラク国内には一切見当たらない」とする再三の証言にもかかわらず、所期の計画通り米はこれを無視しイラク侵略戦争に踏み切ってしまった。9・11の二年後、自らの経済矛盾と油への執着のためだった。

そして一月二〇日、大統領の交替である。合衆国第44代大統領民主党のバラク・オバマ氏。選大変な時代の就任ではある。選挙中の演説も、そして勝利宣言の内容も、聞くほどに酔いしれる夢と情緒があり、一般市民をして一つの変革の詩となつて肌染み入るものがあった。

ち振り熱狂してこの深い愛情に領き応えていた。翌二十一日新大統領は、ホワイトハウスでの初仕事に臨み、政府高官の倫理規定を盛つた大統領令に署名。高官の昇給を凍結。ホワイトハウスから変革を始めた。そして同職員に向けて「われわれは公僕たるを忘れてはならない。公共サービスは、米国民の利益の増進のために行われる」と演説し、オバマ政権の

一員としての高い倫理観を指示した(一月二十三日、中日六面参照)。オバマ大統領は二十二日、キューバ・グアンタナモ米軍基地のテロ容疑者収容施設を一年以内に閉鎖し、容疑者に対する過酷な拷問の禁止と公正な司法手続きを欠く容疑者の長期拘留を禁ずる大統領令を発令。就任早々、外交の安全保障政策の実行に着手した。最大の狙いは、ブッシュ政権との違いを内外にアピールすることだ。同基地には9・11以降、国際テロ組織アルカイダの面々が移送され、CIAなどが尋問してきた(一月二十三日、中日六面参照)。

現世政治の戦争と平和の価値

—ブッシュ・オバマ両大統領の政策—

創立者

矢崎 康

壊している。そしてそのときのビル内外の様子がすべてテレビで映画のように放映されているということになれば誰でも不思議に思うのは無理もない。テロの攻撃を受けたとするペンタゴンのほうも不思議が山ほどあった。

生と昂揚に伴って戦争への謀略は更に進められて行く。イラクに対する米の「大量破壊兵器隠匿の疑惑」に対し、ブックス国連査察委員長の「大量破壊兵器はイラク国内には一切見当たらない」とする再三の証言にもかかわらず、所期の計画通り米はこれを無視しイラク侵略戦争に踏み切ってしまった。9・11の二年後、自らの経済矛盾と油への執着のためだった。

そして一月二〇日、大統領の交替である。合衆国第44代大統領民主党のバラク・オバマ氏。選大変な時代の就任ではある。選挙中の演説も、そして勝利宣言の内容も、聞くほどに酔いしれる夢と情緒があり、一般市民をして一つの変革の詩となつて肌染み入るものがあった。

ち振り熱狂してこの深い愛情に領き応えていた。翌二十一日新大統領は、ホワイトハウスでの初仕事に臨み、政府高官の倫理規定を盛つた大統領令に署名。高官の昇給を凍結。ホワイトハウスから変革を始めた。そして同職員に向けて「われわれは公僕たるを忘れてはならない。公共サービスは、米国民の利益の増進のために行われる」と演説し、オバマ政権の

一員としての高い倫理観を指示した(一月二十三日、中日六面参照)。オバマ大統領は二十二日、キューバ・グアンタナモ米軍基地のテロ容疑者収容施設を一年以内に閉鎖し、容疑者に対する過酷な拷問の禁止と公正な司法手続きを欠く容疑者の長期拘留を禁ずる大統領令を発令。就任早々、外交の安全保障政策の実行に着手した。最大の狙いは、ブッシュ政権との違いを内外にアピールすることだ。同基地には9・11以降、国際テロ組織アルカイダの面々が移送され、CIAなどが尋問してきた(一月二十三日、中日六面参照)。

寒中お見舞い申し上げます。先日、気象庁はラニーニャ現象が発生したとみられると発表しましたが、これはエルニーニョ(El Niño)男の子)と同じく、世界の気候に影響を及ぼし、日本では猛暑や寒冬などの原因となるそうです。昨年の冬が暖冬だったせいも、確かにちよつと寒く感じられるような気もしますが、皆さんはいかがですか。

今年も各地でインフルエンザの流行が始まっている。しばしば誤解されているようだが、これが普通の風邪(普通感冒)とはまったく異なる重大な感染症であることを正しく認識しておかなければならない。

普通の風邪が鼻咽喉の乾燥感やくしゃみで始まり、主症状も鼻汁・鼻閉で、熱もそれほどひどくはないのに対し、インフルエンザではいきなり三八〜四〇度の高熱が出て、高度の悪寒や筋肉痛・関節痛を伴う。熱は四日間ぐらいで徐々に緩解してい

くが、ときには重症化して生命にも危険を及ぼしかねない。症状が重篤であるばかりか、しばしば大流行を起すことも、インフルエンザの困った特徴のひとつだ。それはこの感染症の病原体であるウイルスがきわめて変異性に富むためである。古い時代からの病原体に対しては、鳥類やヒトを含む哺乳類などの宿主の側もそれなりの抵抗力を身につけているが、変異によって新しい亜型が出現した場合、宿主の側にはそれに対する免疫の用意はないから恐

るべき事態が生じかねない。一九一八年に出現したA/H1N1株は全世界に「スペイン風邪」と呼ばれる大流行を引き起こし、全人口の約三割が感染して四千万人が死亡したと推計されている。記録によれば日本でも二十万人以上が感染し、三十九万人が死亡したという。同様の大流行は何回も繰り返され、比較的近年でも五七年のA/H2N2株(ソ連型)、六年のA/H3N2株(香港型)でそれぞれ数百万の死者が出た。

パンデミックと呼ばれるこうした世界的大流行が、今やわれわれの目前にも迫りつつある。鳥類に新型のインフルエンザ(A/H5N1株)が発生し、世界各地でニワトリなどの大量死を招いているが、このウイルスがヒトにも感染し、ヒトの体内で増殖できるように変化しつつあるというのだ。これは人間界では未知のウイルスで、ヒトはまだ免疫を持っていないから、きわめて危険な存在になる。中国では今年に入ってからだけでもすでに六人が感染し、うち四人が死亡している(一月二十六日現在の数字)。高速交通機関が発達した現代では、外国の患者との接触などでウイルスが持ち込まれば、

わが国でもたちまちのうちに大流行が生じるおそれがある。まずは一人ひとりが正しい知識を身につけるとともに、日常生活のなかでの予防対策にも心がけていくべきだ。インフルエンザは患者の咳やくしゃみの飛沫に含まれるウイルスに接触することによって感染する。人込みはできるだけ避けたいところだが、仕事や学業がある人では難しいだろう。せめて外出後は石鹸を使って手を洗いを励行し、うがいも忘れないようにしてほしい。マスクも飛沫を吸いこまないために有用だ。規則正しい生活で体調を整え、抵抗力を高めておくことは、万一感染した場合に重症化を防ぐためにも大切である。

主張 備えよ常々 (Be Prepared!)

インフルエンザウイルスは低温・低湿が好きで、乾燥した空気の中では感染力を保つたまままで長時間浮遊している。しかし湿気に非常に弱いので、室内では加湿器などを使って適度な湿度を保つとよいとされている。最も効果的なのはワクチン接種で、ソ連型、香港型、B型の三種混合はどこでも受けられるから、忘れていた人は今からでも遅くはない。最寄りの医院にお願いしてみることを勧める。

歯科医療関係者はエアロビンの使用に伴うエアゾル汚染により、この種の感染症に対してきわめてリスクの高い職種であることが指摘されている。迫りくる脅威に対して「正しい知識で武装して、万全の備えを」と強調したい。(笠原 浩)

カールソンの英語!!!

寒中お見舞い申し上げます。先日、気象庁はラニーニャ現象が発生したとみられると発表しましたが、これはエルニーニョ(El Niño)男の子)と同じく、世界の気候に影響を及ぼし、日本では猛暑や寒冬などの原因となるそうです。昨年の冬が暖冬だったせいも、確かにちよつと寒く感じられるような気もしますが、皆さんはいかがですか。

今まで私たちは例年お正月に家族で家内の実家に行つて二〜三日過ごしてきましたが、今年も娘もいないのでどこにも出かけませんでした。冬の日には特別なイベントもなく、家に閉じ込められていると何となく退屈になってくるもので、少ししてcooped up、と感じてきました。COOPは鶏小屋ですが、外に出られないで狭いところに閉じ込められている閉塞感のことをいいます。

そこで私は、松本に住んでいる外国人の友人たちに、Cabin fever, anyone? (キャビンフィーバーを感じ始めたかい?)と声をかけました。するとそろそろ外に出たくてウズウズしていた友達たちが待つてましたとばかり顔を寄せ、思う存分話に花を咲かせて気分転換することにになりました。

Cabin Feverとは、特に冬に長い間キャビン(小屋)などに閉じ込められてイライラがたまってきた状態のことで「どうしても抜け出したい」というような気分を表す表現です。

カールソンの英語!!!

寒中お見舞い申し上げます。先日、気象庁はラニーニャ現象が発生したとみられると発表しましたが、これはエルニーニョ(El Niño)男の子)と同じく、世界の気候に影響を及ぼし、日本では猛暑や寒冬などの原因となるそうです。昨年の冬が暖冬だったせいも、確かにちよつと寒く感じられるような気もしますが、皆さんはいかがですか。

今まで私たちは例年お正月に家族で家内の実家に行つて二〜三日過ごしてきましたが、今年も娘もいないのでどこにも出かけませんでした。冬の日には特別なイベントもなく、家に閉じ込められていると何となく退屈になってくるもので、少ししてcooped up、と感じてきました。COOPは鶏小屋ですが、外に出られないで狭いところに閉じ込められている閉塞感のことをいいます。

カールソンの英語!!!

寒中お見舞い申し上げます。先日、気象庁はラニーニャ現象が発生したとみられると発表しましたが、これはエルニーニョ(El Niño)男の子)と同じく、世界の気候に影響を及ぼし、日本では猛暑や寒冬などの原因となるそうです。昨年の冬が暖冬だったせいも、確かにちよつと寒く感じられるような気もしますが、皆さんはいかがですか。

今まで私たちは例年お正月に家族で家内の実家に行つて二〜三日過ごしてきましたが、今年も娘もいないのでどこにも出かけませんでした。冬の日には特別なイベントもなく、家に閉じ込められていると何となく退屈になってくるもので、少ししてcooped up、と感じてきました。COOPは鶏小屋ですが、外に出られないで狭いところに閉じ込められている閉塞感のことをいいます。

カールソンの英語!!!

寒中お見舞い申し上げます。先日、気象庁はラニーニャ現象が発生したとみられると発表しましたが、これはエルニーニョ(El Niño)男の子)と同じく、世界の気候に影響を及ぼし、日本では猛暑や寒冬などの原因となるそうです。昨年の冬が暖冬だったせいも、確かにちよつと寒く感じられるような気もしますが、皆さんはいかがですか。

今まで私たちは例年お正月に家族で家内の実家に行つて二〜三日過ごしてきましたが、今年も娘もいないのでどこにも出かけませんでした。冬の日には特別なイベントもなく、家に閉じ込められていると何となく退屈になってくるもので、少ししてcooped up、と感じてきました。COOPは鶏小屋ですが、外に出られないで狭いところに閉じ込められている閉塞感のことをいいます。

カールソンの英語!!!

寒中お見舞い申し上げます。先日、気象庁はラニーニャ現象が発生したとみられると発表しましたが、これはエルニーニョ(El Niño)男の子)と同じく、世界の気候に影響を及ぼし、日本では猛暑や寒冬などの原因となるそうです。昨年の冬が暖冬だったせいも、確かにちよつと寒く感じられるような気もしますが、皆さんはいかがですか。

今まで私たちは例年お正月に家族で家内の実家に行つて二〜三日過ごしてきましたが、今年も娘もいないのでどこにも出かけませんでした。冬の日には特別なイベントもなく、家に閉じ込められていると何となく退屈になってくるもので、少ししてcooped up、と感じてきました。COOPは鶏小屋ですが、外に出られないで狭いところに閉じ込められている閉塞感のことをいいます。

カールソンの英語!!!

寒中お見舞い申し上げます。先日、気象庁はラニーニャ現象が発生したとみられると発表しましたが、これはエルニーニョ(El Niño)男の子)と同じく、世界の気候に影響を及ぼし、日本では猛暑や寒冬などの原因となるそうです。昨年の冬が暖冬だったせいも、確かにちよつと寒く感じられるような気もしますが、皆さんはいかがですか。

今まで私たちは例年お正月に家族で家内の実家に行つて二〜三日過ごしてきましたが、今年も娘もいないのでどこにも出かけませんでした。冬の日には特別なイベントもなく、家に閉じ込められていると何となく退屈になってくるもので、少ししてcooped up、と感じてきました。COOPは鶏小屋ですが、外に出られないで狭いところに閉じ込められている閉塞感のことをいいます。

カールソンの英語!!!

第3種郵便物認可

教育と研究の充実を誇りに大学発展を誓う

仕事始めの式

新年仕事始めの式が一月七日(水)、本館講堂で挙行された。法人役員をはじめ全職員が一室に会し、永年勤続者表彰、名誉教授称号記授与が行われ、矢ヶ崎 康理事長の年頭のあいさつを拝聴した。

式は出席者全員による校歌斉唱で始まり、続いて永年勤続者の表彰が行われた。表彰されたのは、三十年永年勤続者六人、二十年永年勤続者一人の計七人で、表彰状と記念品が贈られた。永年勤続者を代表して山下利昭教授(ドイツ語)は「皆様方に助けられて育てられて、長い歳月を大学の発展と共に歩んでこられたことを誇らしく思



永年勤続者代表のあいさつ

「創業者矢ヶ崎先生に謹んで深い敬意と感謝を申し上げます」と謝辞を述べ、「建学の理念をより高次なレベルで実現すべく、微力ながら私たちは今後も全力を尽くします」と力強く誓った。

続いて名誉教授称号記の授与が行われ、塩島 勝先生(前歯科放射線学講座教授)に矢ヶ崎理事長より称号記が渡された。

「現場からの医療改革」が重要
東大医科学研究所・上 昌広准教授が講演
第六回大学院FD研修会

「現場からの医療改革」が重要
東大医科学研究所・上 昌広准教授が講演
第六回大学院FD研修会



医療改革について語る上先生

これは、コメディカルに従事する医療者数が欧米の1/4ということに起因している。医師の養成を増加させることも重要であるが、コメディカルを含めた現場の医療環境を向上させる必要性も指摘された。

矢ヶ崎理事長は年頭のあいさつで、昨年ノーベル物理学賞・化学賞を日本人四人が受賞した快挙に触れ、「ノーベル賞を取ると神様のように扱われるが、受賞された先生方は偉ぶることなく、ごく普通の人たち。しかし、研究の世

界では偉大な能力を発揮する。本学にもノーベル賞に値する研究をしている人たちがいます。そのことを皆さん誇りに思ってください」と話された。また、世界的な不況の波が押し寄せ、歯学部をとりまく環境は厳しさを増すが、「大学の学問の力を衰退させないよう、皆で力を合

第六回大学院FD研修会が一月十五日(木)、創立三十年記念棟「常念岳」の間で開催された。今回は、東京大学医科学研究所・先端医療社会コミュニケーションシステム・社会連携研究部門の上 昌広准教授を迎えて「現場からの医療改革」というタイトルで講演をしていただいた。

上先生は、東京大学医学部卒業後、黒川 清第一内科教授(現内閣特別顧問、政策研究大学院大学教授)の下で内科学を専攻、現在は「医療ガバナンス論」をテーマにネットワーキングの日本における強力な牽引者として活躍されている。

今回の講演の中では、最近急増している医療紛争処理に関する新しい提案を示された。また、薬害対策研究の遅れを指摘され、今後、大学における薬害研究の推進が急務であることを

論じられた。現在、大きくクローズアップされている医師不足問題についても言及された。医師数が多いとされている東京都においてさえ、不足感が顕著に認められている。医学部の定員増により、今後、日本の医師数は増加するといわれているが、現実には、団塊の世代の経営する個人病院の医師のリタイヤによる代替わりも増え、若い医師はそちらに

連載 新病院最前線 ⑨

「内科」

一般内科診療、内視鏡検査をはじめ 歯科との連携医療も推進

内科は「心身に安心を提供」と「歯科とのコラボレーション医療」を二大使命として、地域に対する医療貢献をしていくため、また松本歯科大学新病院の臨床研究への貢献を目指して始まりました。

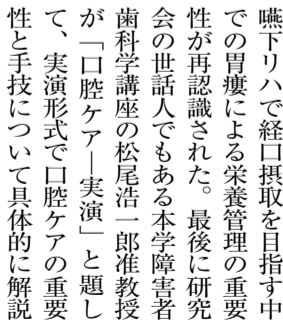
診療は、風邪などの感染症や

高血圧などの生活習慣病といった内科疾患の診断・治療のほか、細径内視鏡を用いた胃や大腸の内視鏡検査が主体です。

特に生活習慣病やその予備群とされるメタボリックシンドロームの受診者に対しては、医師による投薬だけでなく、看護師、臨床検査技師、臨床心理士、管理栄養士、健康管理士による総合的な評価と指導を取り入れています。また鼻からの胃内視鏡検査は安全に、安楽に検査を受けられ、いずれの診療も大変に好評をいただいています。

歯科とのコラボレーション医療では、①ニコチン依存症、②睡眠時無呼吸症候群、③摂食障害の検査・治療を専門外来として実施しています。

当病院は長野県衛生局により「信州おいしい空気の施設」に認定されています。



禁煙相談も成果を上げている。これまでに

定され、内科では禁煙治療も行っていきます。タバコの煙の中には約四〇〇種類もの化学物質が含まれ、そのうちの約六〇種類は発癌物質。喫煙は歯周病のみならず癌全体の約三分の一の原因となっていると推計されています(口腔癌、喉頭癌、肺癌、食道癌、膀胱癌など)。

禁煙治療は保険医療としては一日喫煙本数と喫煙年数の積が二〇〇以上の外来患者のみが対象者となり、専任看護師による聞き取りと支援、臨床検査技師による一酸化炭素濃度や呼吸機能、肺年齢の測定、医師からの支援と投薬で構成されます。

十四人が受診され、現在治療中の方を除いて、六人が治療後に完全な禁煙維持を達成されています。

昼間の眠気といびきを愁訴とする方には、簡易検査で睡眠中の呼吸状態や血中酸素濃度を測定し、重症者には脳波などの測定を含めた精密検査(終夜睡眠ポリソムノグラフィ検査)を行います。

比較的重症者には口腔外科にて歯科装置(マウスピース)を作製して、重症者には持続陽圧呼吸補助装置を使用して効果的な治療をしています。

また一月からは、最新の画像処理技術を搭載したX線透視装置が内科外来ユニットに設置されました。これを用いて特殊診療では、摂食嚥下障害の方の機能評価検査を施行して、摂食可能な食品の選別や指導を行い、内科では摂食困難や栄養障害を認める方に胃腸造設や逆に胃腸からの経口摂取への復帰などの処置や指導を行っています。

病診連携では、便潜血陽性者の大腸内視鏡の検査依頼や再発・進行性消化器癌の治療や緩和療法の相談がほとんどですが、今後さらに発展させていきたいと思っています。

新しい知見と技術を学ぶ

第2回 長野摂食・嚥下リハビリテーション研究会

本学障害者歯科学講座を事務局とする「長野摂食・嚥下リハビリテーション研究会」が二〇〇八年十二月十三日(土)、図書館二階学生ホールで開催された。県内外から約三百人の参加者が訪れ、四人の講師による四時間に渡る講演は熱気に満ちたものとなった。

同研究会は、摂食・嚥下に関する新しい知見や技術を学び、長野県内の摂食・嚥下リハの質の向上を目指して、二〇〇八年七月に発足した。本学内科学の前島信也教授と障害者歯科学講座の小笠原 正教授が代表世話人

となり、県内で摂食・嚥下リハに関わるさまざまな職種(専門家が世話人に名前を連ねている)の顧問である藤田保健衛生大学の馬場 尊先生が「嚥下造影と嚥下内視鏡検査」の二つの診断機器の役割と重要性について、動画を交えて分かりやすく説明した。次に、摂食・嚥下障害看護の認定看護師である藤田保健衛生大学病院看護部の三鬼達人先生が、「看護師と摂食機能療法」と題して、看護師の摂食・嚥下リハへの関わり方と役割について話した。

前島信也教授は「PEGと栄養管理」をテーマに、胃腸の造設の仕方から栄養管理、合併症などについて講演した。摂食・嚥下リハで経口摂取を目指す中で、胃腸による栄養管理の重要性が再認識された。最後に研究会の世話人でもある本学障害者歯科学講座の松尾浩一郎准教授が「口腔ケア―実演」と題して、実演形式で口腔ケアの重要性と手技について具体的に解説

した。内視鏡やライブカメラを用いて、実際の口腔ケアのやり方とポイントを説明することで聴衆からも分かりやすかったと好評だった。



実演を取り入れた松尾准教授の講演

第3種郵便物認可

新病院建設のため

本学病院のITシステムを視察

中国・四川大学華西口腔医学院代表団が来学

二〇〇八年十二月二十二日（月）に、四川大学華西口腔医学院を代表して王虎教授（放射線科主任）や陳宇教授（口腔病理学教授）ら三人が、松本歯科大学病院を視察のため訪れた。

中国西北部に位置する四川省の省都・成都市にある同口腔医学院の前身は、カナダ人の歯科医師Lindsayの支援を得て一九〇七年に設立された成都仁濟牙科診所が基礎となり、その後一九二二年に中国では最も歴史の古い歯科大学となる華西医科大学付属口腔医学院として成立した。北京や上海の由緒ある大きな歯科大学の老教授は、ほとんどがこの大学の出身者であったことから、その歴史と存在意義をうかがい知ることが出来る。さらに、二〇〇〇年には、中国で現在、推進されている大学の総合化、再編統合策の一環として、四川大学に統合され、今では四川大学華西口腔医学院院長（周学東教授）として、中国でもトップ



本学病院を視察する四川大学華西口腔医学院の代表団（右へ）

歯科薬理学講座・王教授 市民300人に熱く語る

第2回 口腔衛生推進研修会 「市民公開講座」開催

一月十八日（日）、岡谷下諏訪歯科医師会が主催する第二回市民公開講座が岡谷市の岡谷カノラホールで開かれ、本学歯科薬理学講座の王宝禮教授が「口の渴き、口の悪臭、味覚

の異常、舌の痛み、歯周病、喫煙へのあなたのお悩み」に答える」と題して講演した。過去何年と王教授の講義を受け学んできた私だが、市民公開講座としての講演に接するのは初めてで興味深く拝聴させていだいた。王教授は「口腔内科」という概念を提唱し、口腔を一つの臓器と捉え、従来よりも保健医療の幅を広げたいと考えている。そして、これには検査、診断の大切さを訴えている。

講演の主な内容は、西洋医学と漢方医学の融合による口腔乾燥症、舌痛症、味覚障害、口臭、口内炎、歯周病などに対する治療法であった。例えば、口腔乾燥症の場合は、唾液腺マッサージ



市民公開講座にて講演する王教授

ジをはじめ保湿剤、ムスカリン受容体作用薬、口渇に適応した漢方薬などの投薬方法を説明された。また、舌痛症や味覚障害口内炎については、治療のひとつとして血液検査などにより不足したビタミンやミネラルを補うサプリメント療法や有効な漢方薬を紹介された。さらに、歯周病の場合は、治療後の免疫活性を目的とした漢方薬の有効性に聞き入っていた。

今回の市民公開講座には三百人を超える参加者があり、岡谷下諏訪地域における口腔への関心の度合いが伺われた。これは常日ごろの歯科医師会並びに健康推進課の保健活動の賜物ではないかと感じた。

今回の市民公開講座には三百人を超える参加者があり、岡谷下諏訪地域における口腔への関心の度合いが伺われた。これは常日ごろの歯科医師会並びに健康推進課の保健活動の賜物ではないかと感じた。

プ5にランクされるほどの有名歯科大学として知られている。二〇〇床の病床と三〇〇台の歯科ユニットを擁する規模であるとのことである。

華西口腔医学院では、新しい病院を建設中であり、本年には十七階建ての中国で最大の歯科大学病院が出現する運びとなっている。この新病院では、PACS電子画像転送システムなど、高度ITシステムの導入が計画されている。

今回の訪問は、最新の設備を有している松本歯科大学病院の評判を聞いて、新病院建設の参考にしたいとの希望で視察に来られた。本院では全国でもいち早く、トータル電子カルテシステムを導入しているところから、華西口腔医学院でも同様なシステムを導入して、機器設備の最新化を図りたい、そのためには、わが国の最新システムを見学し、学びたいということ、細部にわたって大変熱心に質問をされ、メモをとったり、熱心こもった視察ぶりであった。

「新型インフルエンザに備える」

須坂病院感染制御部長・高橋 央先生を迎え 第4回病院セミナー開催

一月十九日（月）に須坂病院感染制御部長の高橋 央先生を迎え、「新型インフルエンザに備える」と題して第四回病院セミナーが開催された。高橋先生は長崎大学医学部を卒業後にCDC疫学研究員、国立感染症研

究所研究員、JICA国際協力専門員を勤め、二〇〇三年にはベトナムでアウトブレイク（地域内流行）したSARSの封じ込めでも活躍された専門家である。六〇二教室には、高橋先生のセミナーを受講するために百

五十人以上の職員が集まり、関心の高さを示していた。過去のインフルエンザパンデミック（世界的流行）は三十四年周期で起っており、現在まで四十年間起っていないので、WHOをはじめ各国や県などの行政ではインフルエンザパンデミックに近づいていると考え、対策を講じている。高橋先生は、これから起りうるインフルエンザパンデミックは、昔と比べて、世界伝播時間は格段に早く、世界同時多発し、感染者も十六〜三十億人と推計されていることを説明された。SARSのアウトブレイク時には初発症例から医療従事者、医療従事者家族、地域内接触者と伝播したが、新型インフルエンザにおいても同様な可能性がある。初期段階での適切な対応が流行拡大を減速させ、感染者や死亡数などの被害を少なくするので、マニュアル作成、シミュレーションの実践などの必要性を強調された。新型インフルエンザは空気感染対策をとることが望ましく、N95マスク、手袋、ガウンなどが必要となり、動線の確保、空調システムの変更、曝露後の予防対策について須坂病



新型インフルエンザの予防対策について語る高橋先生

現在、フェーズ3（ヒトヒト感染はないか、またはきわめて限定されている）であるが、一旦パンデミックが起れば、第一波だけでなく、第二波、第三波そして年をまたいで続くことも考えられている。そして「普段できないことは、緊急時にはできません」と話され、事前に備えることの重要性を強調された。セミナー後には多くの質問が寄せられ、予定の時間を十分もオーバーする意義のあるセミナーであった。

現在、フェーズ3（ヒトヒト感染はないか、またはきわめて限定されている）であるが、一旦パンデミックが起れば、第一波だけでなく、第二波、第三波そして年をまたいで続くことも考えられている。そして「普段できないことは、緊急時にはできません」と話され、事前に備えることの重要性を強調された。セミナー後には多くの質問が寄せられ、予定の時間を十分もオーバーする意義のあるセミナーであった。

機関紙「Campus Today」ご愛読の皆様へ

平素は本学機関紙「Campus Today」に格別のご支援をいただき厚く御礼を申し上げます。皆様方二十四年の長きにわたるご愛読いただき「Campus Today」は、二〇〇九年三月（三百五号）をもちまして、紙媒体での配布を終了させていただきます。四月一日からは、本学ホームページ（www.ndu.ac.jp）のみでご覧いただくこととなります。毎月一日の掲載ですが、これまで同様、ご愛読いただきまますようお願いいたします。（広報課）

大学院歯学独立研究科 2009年度入試日程(2次募集)

- 募集人員：18人（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜）
 - 試験会場：本学実習館
 - 入学検定料：30,000円
 - 試験科目：一般選抜＝外国語（英語）・面接 / 社会人特別選抜＝面接
 - 外国人留学生特別選抜＝語学（日本語または英語）・面接
 - 出願期間：2009年2月2日（月）～2月13日（金）
 - 試験期日：2月20日（金）
 - 合格者発表：2月27日（金）
- 問い合わせ先：松本歯科大学大学院入試係 TEL 0263-51-2216・2217

Economic News		内外の経済 1月28日付	
▶株価		東京外国為替相場と各国内定期預金金利 (3ヶ月)	
日本	8,070.98円	米ドル	90.45円 0.20%
米国	8,174.73ドル	英ポンド	127.95円 0.45%
▶金地金店頭価格 (消費税込み)		ユーロ	119.35円 0.48%
売り (1グラム)	2,761円	スイスフラン	79.55円 0.01%
買い (1グラム)	2,688円	タイバーツ	2.65円 0.01%
▶白金店頭価格 (消費税込み)		タイバーツ	2.65円 0.01%
売り (1グラム)	2,961円	日 円	— 0.20%
買い (1グラム)	2,772円		(シテイバンク調べ)

- 27日(金) 一般入試(中期)・編入学試験(二期) 特待生選考試験(二期) 合格者発表
- 26日(木) 学年進級試験(第2・3・5学年) 衛生学院戴帽式(歯科衛生士科)
- 24日(火) 大学院学生選抜試験(2次) 一般入試(中期)・編入学試験(二期) 特待生選考試験(二期) 本学・東京・大阪
- 18日(水) 後期定期試験(第5学年)
- 14日(土) 共用試験OSCE(第4学年)
- 10日(火) 第102回歯科医師国家試験(東京)
- 7日(土) 後期定期試験(歯科衛生士科第5学年)
- 5日(木) 一撃試験(前期)・センター利用入試(前期) 特待生選考試験(前期) 合格者発表

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

一般入試(中期)

2月24日(火)

- 出願期間 2月2日(月)～2月18日(水)
- 試験場 本学・東京・大阪

センター利用入試(二期)

3月17日(火)

- 出願期間 2月27日(金)～3月12日(木)
- 試験場 本学・東京・大阪

【特待生募集】成績優秀かつ人物が優れた学生を募集します。卒業までの6年間にかかる学費が大幅に軽減され、特待生1種は約560万円です。

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 広報課
www.ndu.ac.jp

2月行事予定